

●とびっくす●

## 2050年の四国・徳島の建築を考える ～初めての、徳島建築四団体合同シンポジウム～

ノーリツ号

2011年2月12日土曜日。10日から降り始めた雪で四国  
の高速道路が麻痺している中、東京からは芦原太郎さん、  
愛媛からは建築学会愛媛支所の和田耕一さん、高知から  
建築家協会高知地域会の平山昌信さんをお迎えして、「ア  
スティとくしま」でシンポジウムが開かれました。

このシンポジウムの最大の特徴は、徳島県では初めて、  
建築関係の四団体が一同に会して行われたことです。四  
団体とは、徳島県建築士会に加えて、徳島県建築士事務  
所協会、建築学会四国支部徳島支所及び建築家協会徳島  
地域会の四団体です。

この四団体には、同じ人が重複して参加していたりす  
る一方、一団体のみの所属にこだわる方がいたり、皆  
さん様々な形で参画しているわけですが、いままで合同  
で何かをやったということはなく、この日は、マイナー  
ながらも歴史的和解が成立したといったところです。

さて、シンポジウムは建築家協会徳島地域会の内野輝  
明さんの、温かい語り口の司会で幕を開け、四団体合同  
シンポが開かれたきっかけを、その中心人物となった事  
務所協会会長西田功さんが、江戸落語を思わせるべらん  
めえ調で語り、厳粛な中にも、うち解けた雰囲気の中で  
始まりました。

今回の基本的なテーマは、わが国固有の美しい景観を、  
サステナブルな建築・都市として新たに再構築するに  
ということ、その切り口として「徳島建築の木造化」  
について議論しようということでした。

### 1 基調講演 「2050年の建築家像」

日本建築家協会会長 芦原太郎氏

3年に1度世界規模で実施されるUIA大会の日本誘致  
を進めていたが、2011年に東京大会が実施されること  
になり、これを記念して、東京に向けて地方から発信す  
べく、徳島でもシンポジウムを行いたいということで、こ  
のたび初めて建築関係四団体の合同シンポを実施するこ  
ととなった。

「アーキテクトの語源はギリシャ語のArchitektonで職  
人の頭というくらいの意味だ。建築家個人の名前が歴史  
に初めて登場するのは、フィレンツェのサンタ・マリア・  
デル・フィオーレを構造的にもデザインのにも設計した、  
天才ブルネッレスキだろう。

日本では、「建築」という言葉は、明治時代に伊藤忠  
太が造語した。これは総合芸術との属性を示しており、  
従来いわれてきた「造家学会」の造家では意味が狭い。

近代の建築家像というのは

・巨匠 ・作品 ・啓蒙

これからの建築家像は

・調停者 ・運動体 ・対話

ということになるというのが私の考えだ。

建築士会と建築家協会では、それぞれの設計専攻建築  
士と登録建築家を社会制度として一本化する話し合いが  
すすんでいる。建築基本法の制定とあわせて、UIA東京  
大会では日本の建築家像の指針として一定のロードマッ  
プが示せるように協議中である。

### 2 徳島建築四団体の活動について

4団体から活動状況の報告があり、本会は、副会長の  
笠井義文さんから報告がありました。

### 3 パネルディスカッション

#### 「2050年へ、【徳島建築の木造化】を考える」

本会会長の佐藤幸好さんは、上勝町でのご自身の活動  
の中から、大切な自然を守り続けるためにも木造建築に  
取り組む必要があると力説されました。

シンポを通じて感じた木と木造化のポイントは次のと  
おり。

- ① 地域流通材を使う
- ② 発注のタイミングが重要（木材の確保、乾燥）
- ③ 従来型の工法の採用
- ④ 耐久性・メンテナンス計画を考えて



上勝町と木造建築について発表する佐藤会長

# 平成22年度 (社)徳島県建築士会活動報告会・講演会

徳島支部 244

朝夕はまだまだ冷え込みますが日差しは春っぽくなってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。久しぶりにまちかどを書いてということで去る3月21日に行われた活動報告会の内容を書かさせていただきます。

事業委員会の事業の1つとして行われた活動報告会ですがこの事業にかかわりたい人を募り、打合せを重ねてきました。また一般の方も足を運んできてもらえるように活動報告会に講演会を引っ付けました。

活動報告会では徳島アーバンデザイン研究会、バリアフリーデザイン研究会、阿波のまちなみ研究会、徳島支部、三好支部から活動報告してもらいました。

アーバン研は徳島の景観ホームページ「とくしまっぷ」の運営を行っており、県民から送られてきた写真の紹介をしていただきました。どれも心を癒される写真でこのような景観を若い人たちを含めて守っていかねばならないと思いました。

バリ研からはリホームヘルパーや、やさしいまちづくり条例に関わった話をしていただきました。なかでも建築士は建築士だけ、介護士は介護士だけで動くのではなくみんなが意見を出し合い利用者の為により良い提案をするというのは大切な事だと思いました。

まち研からは今まで調査した建物の中で、昔は自然の脅威から人命や資産を守る為に工夫されてきた技術などが近年の自然をコントロールできるという風潮から忘れ去られてきているという話をさせていただきました。ある程度のコントロールは必要ですが想定以上の災害がきた

ときに出来るだけ被害を少なくするといった工夫が必要だと僕は理解しました。

徳島支部からはひょうたん島の活動報告をしてもらい今まで行ってきた活動の中で植樹や乗船会の成果報告、ならびにこれからの展望について話していただきました。ひょうたん島の活動は色々な団体の協力の下、成り立っていて、かなり広がり期待できる活動だと思いました。

最後に三好支部から数年前からほぼ毎年おこなわれている出前事業の報告をしてもらいました。学校に出向いてパーゴラ製作や、墨だしの実習をしているとのこと。小さい時から建築に親しんでもらい、将来の建築の担い手になってもらおうということが目的だそうです。

これらの活動報告を聞いて、それぞれの活動が建築士会として、また1人の資格を持った専門家として、地域や人にどの様に関わっていくのかという1つの答えだと感じました。また、専門性が多岐にわたる場合でも他の専門家の人達と力を合せていくことにより、より良いまちづくり・ものづくりが出来ると思います。これからも日々努力を重ねて頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、今回の震災の影響により講演会は中止となりました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたすとともに被災された方々にお見舞い申し上げます。建築士会事務局に義援金募金箱を設置しておりますので、皆様のご協力をお願いします。



## 日和佐の太鼓

海部支部 野田 穰嗣

私の生まれ育った美波町の日和佐地区は、アカウミガメの産卵地の「大浜海岸」と、四国88ヶ所霊場23番札所の「薬王寺」という町人に愛され続けられている場所(・・)があり、また町人に愛される行事(・・)に「日和佐八幡神社の秋祭り」があります。

秋祭りは、毎年10月の第2週の土・日に行われ、日和佐地区の8つの地域の太鼓屋台(“ちょうさ”と呼ばれる)が出て祭りを盛り上げます。一番古いもので江戸時代に遡り200年以上の歴史があります。ちょうさは、50人以上の担ぎ手が、打ち子の鳴らす太鼓と、拍子木のリズムに合わせ、声を張って担ぎ、神社境内、大浜海岸を練り歩きます。

昨年、私は地域の太鼓責任者をやらせていただきました。責任者は、34～5歳の者(地域によって異なる)で、祭り事の地域の責任を追います。

責任者をやる前には、“見習い”として何年か、責任者の翌年には“御礼奉公”の身として携わるといふ風習があります。もっと言うならば、小学生の頃に子供御輿を担ぎ、中学生で太鼓の打ち子をして、子供から大人になるまで段階を踏んで祭りに携わって行きます。ある人は言います、祭りの責任者をやってはじめて地域の顔になる、と。

町人の中には「一年は祭りにはじまり、祭りに終わる。」「日和佐の正月は、秋祭り。」と言う祭り馬鹿や、祭り太鼓の音色が聞こえれば敏感に反応してしまう人がたくさんいます。そんな、人々に愛され、伝統ある日和佐の祭り太鼓を、いつでも、どこでも打てるようにとの想いでつくられた“日和佐太鼓創作会”というものがあります。昭和63年に発足して、20数年足っており、4年前から私もメンバーとなり、太鼓を叩いています。

私が入るきっかけとなったのは、日和佐の祭り太鼓が好きというのはもちろんですが、和太鼓の演奏を聞いた

時に、長胴太鼓と締め太鼓の調和と、撥さばきや叩き方の見せ方に感動したのがおおいと言えます。

週1回の練習で、なかなか1つの曲を覚えるのに四苦八苦してありますが、演奏の場にとって人前で叩いたときは、とても気持ちがいいものです。それに、ただ演奏として叩いて音が出ればいいというものではなく、撥さばきから立ち振舞いの見せ方もあるので、奥が深く、追求していけるところがたくさんあるのもおもしろさです。

半年ぐらい前から、2歳の息子が練習についてくるようになりました。「やっぱり日和佐の子。太鼓には興味あるんやな。」と冗談で思っていますが、なかなか普段かまっていられないので、好きな太鼓と一緒にいられるのは貴重な時間です。いずれこの子も“ちょうさ”ののって祭り太鼓を叩くかと思うと楽しみの一つです。

秋祭りも人口の減少に伴い、どこの地域も担ぎ手、打ち子の人手不足になってきています。けど、どこの地域の人達も絶対にこれからどうにかして、“ちょうさ”は動かす。祭りはやる。と口をそろえて言います。それは、ただ単に祭りをやりたいというのではなく、地域の伝統文化の継承と捉えています。

一昨年、地域で祭りのハッピーを一新しました。地域の方々より、多くの支援をいただき実行することができました。伝統文化の継承は、やめてしまえばなくなるのは早い。不景気だからといって後ろ向きにならず、誰もが好きな祭りだから元気よくやりましょう。というような声をいただきました。とてもありがたく、そのような考え方は、今後自分が先輩として後輩に伝えるべきものだと感じました。また、日和佐太鼓のメンバーとしても、打ち子の育成や祭り太鼓のアピール等を通して、この日和佐の伝統文化の継承に協力していければと思います。

みなさん、ぜひ日和佐八幡神社の秋祭りにお越しください。



昨年の秋祭り集合写真



日和佐太鼓創作会

●支部だより●

# 美馬支部親睦ボウリング大会

美馬支部青年部長 田渕 宏樹

寒さも幾分か和らいだ2月26日の土曜の夜、ぽっぷ・ジョイ石井にて美馬支部親睦ボウリング大会が開催されました。この企画は美馬支部青年部主催で例年行われているもので、美馬支部会員、準会員、賛助会員及び家族が対象とし、皆さんで親睦を深めるのが目的として開催されます。

さて2月中旬の大会締め切り日、出席者の確認をしたところ、なっとなっとなんと！！

参加者は我が家だけでした・・・

大会当日はPTA関連の講習会に出席する予定があったので、いっそボウリング大会を中止しようとしたら、美馬支部青年部の会計を務めている内藤氏が是非開催しましょうと何故か熱い！

なんでそんなにボウリング大会に燃えているのか未だに謎ですが、急遽あちらこちらに呼びかけて何とか開催する運びとなりました。

大会当日、徳島市内でのPTA関連の講習会終了後、急いでボウリング場近くのフジグランまで舞い戻り、何故かボウリングに燃えている内藤氏と合流して参加者への景品を物色。

せっかく参加していただく皆様に、貰って喜んで頂ける景品を準備するのが主催者としての務め。

私は家族の誰かが使える物orあれば便利な物を基準に、景品を選んでいきます。

しかし一方の内藤氏はスターウォーズに出てくるライトセーバーみたいな物やカードシャッフル機？、マニアックなエヴァンゲリオングッズを購入しかけるなど、明らかに皆様よりブーイングされそうな物を選択・・・

「他のものにしたら」という青年部長（私）の助言も軽やかにスルーし、「心惹かれました」とよく分からない返答の内藤氏・・・

結局時間も無いのでそのまま購入することにし、ドタバタながらボウリング大会開始！

4家族の参加でしたので、4レーンを使わせていただき、まずはボウリング場のサービスの始球式です。（スコアは関係無く、倒したピンの数で景品がもらえます）

いきなりストライクを出した板東家は、家族分の1ゲーム無料券とジュース券をゲット！！

我が家は代表で奥様が投げ、9ピン（惜しい！）

親睦を忘れ、皆さん1投、1投が真剣でした！

小さい子どもがいる家庭は、玉を転がす滑り台みたいなものを1投毎に出さないといけないので親は大変そう



ストライク取れるかな～？

でしたが、子どもにも十分楽しめていたようです。

今大会は2ゲームの合計点勝負となっています。

全員ボウリングが久々&初めてという参加者の面々でしたが、1ゲーム終了後時点でのトップは160点を叩き出した萩原氏。

まあスコアは景品のくじ引きの順番を決める為だけのものなのですが、2ゲーム目は奥様が奮闘！

次々とストライクとスペアを決めていく奥様方に対し、ピンを避けて投げる男ども（汗）

結局2ゲーム合計点でのトップは萩原氏が死守しましたが、1ゲームでのハイスコアは私の奥様が187でトップ、内藤氏の奥様が167で2位と、女性陣がワンツーフィニッシュで飾りました。

最後に合計点数順にくじを引き、豪華景品？をそれぞれゲットして解散といたしました。

今回参加していただきました皆様、お疲れ様でした！



ライトセーバー？はお約束通り内藤家がゲット（笑）

# 仲間と造った上勝の家

—だんだんだん竣工—

徳島支部 杉本真理子

上勝町にとっても素敵な町営住宅「だんだんだん」—田野々住宅—ができました。基本設計は神奈川大学曾我部研究室。実施設計はだんだんだん徳島プロジェクトチーム5人組(勝手につけたチーム名だけど…)がおこないました。

どんな住宅かということ  
木造2階建ての住宅が7戸全て異なるプランで建てています。

## ◇上勝らしい住宅

- ・敷地が棚田のようにだんだんになっている。その棚田が家の中まで入り込んでいる。つまり棚田の中にそのままに建っています。
- ・1階はパブリック的で内と外が白い壁で曖昧に繋がっている。
- ・2階はプライベートスペースの個室。
- ・各々が上勝の自然と向き合って、風や木々のささやきを感じられる。

他もろもろあるのですが、とにかく聞くより見て感じて欲しいですね。しかし、一番大きいコンセプトは、上勝らしく自然を感じる住まいで、みんな仲良く共同生活して欲しい！ってところでしょうか。

また夜景もすばらしくってぜひ、見学に行ってください。



山に向かってオープンな居間夜景は別世界★



白と黒の焼き杉のリズムが素敵でしょ！

## ◇チームでつくる面白さ

今回は一人じゃなく曾我部研+徳島チームを組んでものづくりをしました。一人では感じられない、ものづくりの面白さも体験しました。みんなで議論しながら練り上げることも体験でき、大きな財産となりました。神奈川大学の学生たちも佐那河内のアトリエ・クーに実施設計時に計3ヶ月泊まり込みの自炊生活をしました。佐那河内の人たちにもかわいがってもらって、ゲートボールをしたり、スタチの収穫や稲刈りも体験し、その合間に？図面を描いて、気持ちの良い日には、庭に机を出して外で図面を描いていました。

上勝町営住宅だんだんだんは、一つのプロジェクトに色々な人の想いが膨らんで出来上がりました。

学生たちともコラボして作り上げていく中で、ものづくりには経験や技術だけでなく、やっぱり「いいものを作りたい」「とことんこだわりたい」とかいう何でもいいから真剣な情熱が必要で、一人で造る時も必要だけど、想いを一つにして仲間と練り上げる時もあった。と感じました。

また、こんな機会を探して、ぜひぜひ次も仲間で何か造りたいと思っています。

## 女性部からのお知らせ

### ■女性部総会のご案内

日 時:4月30日(土) 午後3時より

場 所:建築士会会議室

※MLでもご案内させていただきます。

●行政だより一県●

**構造計算適合性判定の実施機関について**

平成23年度から、徳島県の建築主事が建築確認を行う場合、構造計算適合性判定は、一般財団法人日本建築センター、ビューローベリタスジャパン株式会社、株式会社日本建築検査機構の3社で行えるようになりました。

●士会だより一本部●

**東北関東大震災義援金募金箱の設置**

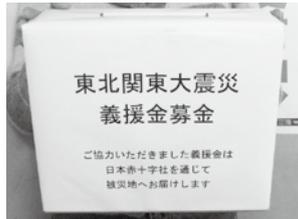
3月11日に発生した東日本大震災につきて、被災された方々、ご家族の皆様、心からお見舞いを申し上げます。

(社)徳島県建築士会では、今回の地震により被災された方々に対して、義援金の受付を行います。

(社)徳島県建築士会事務局受付カウンターに募金箱を設置しました。ご寄付いただいた義援金は、日本赤十字社を通じて、全額被災地へ寄付いたします。

皆様のご協力をお願いいたします。

(社)徳島県建築士会 会長 佐藤幸好・役員一同



●士会だより一本部●

**平成23年度建築士会通常総会のご案内**

- ・日時 平成23年5月21日(土) 14:30～
- ・場所 徳島県建設センター6F 徳島市富田浜2-10

●士会だより一徳島支部●

平成23年度建築士会徳島支部通常総会のご案内

- ・日時 平成23年5月14日(土) 15:00～
- ・場所 徳島県建設センター6F 徳島市富田浜2-10

●士会だより一本部●

**定期講習のお知らせ**

建築士法の改正により、建築士に対する定期講習がスタートしています。建築士事務所に所属するすべての建築士は、登録講習機関が行う定期講習を3年以内に受講しなければなりません。

初回の受講期限は経過措置期間の平成24年3月31日までです。

平成23年度は4回開催します。

締め切り間近は相当の混雑が予測されますので、できるだけ早めに受講して下さい。

◆平成23年度・第1期 定期講習は下記の通りです。

- 講習日 平成23年6月12日(日)
- 場 所 徳島県建設センター

定員 150名 (受付は、申込み順とし、定員になり次第締め切ります。)

◆申込み受付 平成23年4月4日(月)～4月8日(金)

受付場所 (社)徳島県建築士会

申込み用紙は、ただ今配布しております。

配布・受付・問い合わせ

(社)徳島県建築士会 徳島市富田浜2丁目10番地  
建設センター5F

TEL 088-653-7570 FAX 088-624-1710

●士会だより一本部●

**平成23年度建築士試験日程**

一級建築士

■申込書配布 4月25日(月)～5月13日(金)

■申込受付 5月9日(月)～5月13日(金)

■学科試験 7月24日(日)

■設計製図試験 10月9日(日)

二級建築士

■申込書配布 4月4日(月)～4月15日(金)

■申込受付 4月11日(月)～4月15日(金)

■学科試験 7月3日(日)

■設計製図試験 9月11日(日)

木造建築士

■申込書配布 4月4日(月)～4月15日(金)

■申込受付 4月11日(月)～4月15日(金)

■学科試験 7月24日(日)

■設計製図試験 10月9日(日)

**編集後記**

◆想定を超えた大地震が起こりました。想定を超えた被害であろうとも、人間は生きてゆかなければならない。日本人の底力が試されています。(ノーマット号)

◆仕事、がんばります!!今朝、寝違えて首痛めました。痛い～(>\_<) (ハリー)

◆私も元気ががんばる。(ぺぺい)

◆今日の編集会議は難産でした。(耐西)

◆でも無事産まれた!ありがとDoたん (\*^^\*)。(ひとはたうさぎ)

【訂正】先月号の士会だよりで、「『徳島県あんしん・耐震コンクール』で知事表彰されたのは、本会の美馬支部のみです。」とお伝えしましたが、正確には、「普及啓発部門で知事表彰されたのは、本会の美馬支部のみです。」の誤りでした。お詫びをして訂正いたします。

**建築士会本部行事案内 平成23年**

4月	4月
1日 一日会 (士会会議室)	25日 監査 (士会会議室)
4～8日 建築士定期講習受付 ( )	28日 常任理事会・理事会 (建設センター6F)
5日 委託業務審査委員会 ( )	30日 女性部会総会 (士会会議室)
7日 総務委員会 ( )	
11～15日 二級・木造建築士試験受付 ( )	5月
13日 建築相談 ( )	1日 一日会 (士会会議室)
18日 財務委員会 ( )	9～13日 一級建築士試験受付 ( )
19日 まちかど編集委員会 ( )	11日 建築相談 ( )
20日 建築相談 ( )	14日 徳島支部総会 (建設センター6F)
20日 セビア ( )	18日 建築相談 (士会会議室)
21日 事業委員会 ( )	21日 本部総会 (建設センター6F)
21日 地域貢献活動委員会 ( )	